

平成 29 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ナガオカ
 代表者名 代表取締役社長 梅津 泰久
 (コード：6239、東証 J A S D A Q)
 問合せ先 管理本部長 楯本 智也
 (TEL. 0725-21-5750)

第 2 四半期（累計）連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 1 月 18 日に公表した平成 29 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向及び市場環境を踏まえ、平成 28 年 8 月 9 日に公表した平成 29 年 6 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 6 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想との差異
 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,210	△218	△168	△115	△55.43
実績値 (B)	1,213	△220	△165	△207	△100.06
増減額 (B - A)	3	△2	3	△92	
増減率 (%)	0.2	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 6 月期 第 2 四半期)	1,064	△374	△454	△288	△139.25

2. 平成 29 年 6 月期 通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,037	187	161	113	54.53
今回修正予想 (B)	3,164	△319	△293	△284	△137.13
増減額 (B - A)	△1,872	△507	△454	△397	
増減率 (%)	△37.2	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	3,123	△597	△871	△814	△393.04

3. 差異及び修正の理由

平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間の連結業績については、業績の推移を鑑み繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を取崩したため、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を大きく下回ることとなりました。

平成 29 年 6 月期通期の連結業績については、平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間において、国際水事業部並びにエネルギー事業部で受注計画に大きな差異が生じたことにより、下期に予定していた売上の計上が見込めなくなったことから連結売上高は、平成 28 年 8 月 9 日発表の 5,037 百万円の当初予想に対し、3,164 百万円（増減率△37.2%）と予想をしております。

利益面では、売上総利益率は計画よりも若干改善（計画 26.7%、予測 27.0%）しており、販売費及び一般管理費も計画より 57 百万円の削減を見込んでおりますが、前述のとおり売上高が予測に対し大幅な減収となったため、大幅な減益予測となりました。

国際水事業部 平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間受注計画と実績差異

（単位：百万円）

	中国			アメリカ			マレーシア			ベトナム			合計		
	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額
国際水	136	-	△ 136	193	-	△ 193	100	-	△ 100	8	-	△ 8	437	-	△ 437

海外の水関連事業では、平成 29 年 1 月 18 日発表の「第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、積極的に営業活動は行いましたが、第 2 四半期累計期間に受注を見込んでいた案件の進展がありませんでした。国別の状況ですが、中国では延寿県において、ケミレスを採用したいとの意向がありましたが、水務局がまだもって検討中です。アメリカにおいては、六価クロム除去の実験には成功しているものの技術選定が大幅に遅れています。マレーシアでは、地下ダム案件に入札参加しましたが、失注しております。以上のような状況から、今後は経営資源の有効活用の面から海外案件の掘り起こしを一旦見直すこととし、ニーズのある国内需要の掘り起こしに注力し、受注の拡充を図ります。

エネルギー事業部 平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間受注計画と実績差異

（単位：百万円）

	新設			更新			合計		
	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額
UOP	756	111	△645	584	199	△385	1,340	310	△1,030
UOP以外	472	68	△404	638	552	△85	1,110	620	△489
合計	1,229	179	△1,049	1,221	751	△470	2,450	930	△1,519

※UOPとは、プラント建設において基本設計・特許などの使用権を持つプロセス・オーナーです。

エネルギー関連事業では、原油価格が一定の水準まで回復してきているものの、第 2 四半期累計期間においては、需要の縮小は継続しておりました。また、既存の認証サプライヤー間の価格競争は依然として厳しく、加えて、新たな準サプライヤーが中国において現れたことから、価格競争は一層激化することとなり、第 2 四半期累計期間に受注を見込んでいた案件に大きな狂いが生じました。

計画差異発生の原因としては、マーケットに対して十分なリサーチが出来ておらず、情報はライセンサーであるUOPやエンドユーザーから収集し、その案件情報を正として計画を立て、案件毎の情報収集力も欠如していたことにあります。UOPといえども、その情報の正確性を見極め、発生案件に対しては、競合他社の提示価格の予想、工場の稼働状況等の情報を調べ、綿密に調査が出来ていなかった点を反省し、課題として改めます。

4. 財務制限条項への抵触について

業績予想数値の修正に伴い、複数の金融機関と当社が締結しておりますシンジケートローン契約に規定する財務制限条項の「平成 27 年 6 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等における単体の損益計算書に記載される経常損益を 2 期連続して損失としないこと」に抵触する見込みとなりました。そのため、関係金融機関等に対しまして、期限の利益喪失に関わる条項を適用することなく当該契約を継続するよう申し入れております。また、手許資金についても十分に確保しており、当面の資金状況は安定的に推移する見通しです。

当社グループは、これらの事象又は状況に対応すべく、以下の諸施策を遂行することで当該事象又は状況を解消し、業績及び財務状況の改善に努めてまいります。

① 収益力の改善

a. エネルギー関連事業から水関連事業へのシフト

当期首より、「エネルギー」から「水」へと主力セクター変更を掲げ、新たな体制で水関連事業の営業に注力してきました。海外の水関連事業は、以前より営業活動を進めてまいりましたが、受注を見込んでいた案件が進展しておらず、経営資源の有効活用の面から海外案件の掘り起こしを一旦見直します。今後はニーズのある国内市場にターゲットを絞り、掘り起こしに注力することで受注拡充を図ります。

b. 利益率の改善

エネルギー関連事業では、価格競争が激化し粗利率が低下していることから、安値受注を回避するとともに原価管理を強化し、利益が出る案件の確保に努めます。水関連事業では、国内需要の掘り起こしを進め、利益率の高い受注拡充を図ることで収益の拡大に努めます。

c. 抜本的なコスト削減

当期首から取り組んでいる製造固定費並びに販売費及び一般管理費の削減を継続するとともに、海外の水関連事業において先行投資として支出していた海外渡航費等の経費を削減します。また、現状の売上規模では当社グループの工場設備は過剰であると考えられることから、工場設備の在り方を改め、筋肉質な体制への移行を検討しています。

② 財務体質の安定

当面の事業資金を確保するため、取引金融機関から支援を得るべく協議を進めています。また、資本の充実を図るため、ファンド等からの出資受け入れ等の検討も行っています。

5. 代表取締役の辞任並びに役付取締役の解任と役員報酬の返上について

上記の事態を踏まえ、経営責任を明確にするため、代表取締役 三村等の代表辞任、専務取締役 山田克彦並びに石田知孝の専務職解任を本日開催の取締役会において、決議しております。なお、代表取締役の異動に関しましては、本日発表の「代表取締役の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

また、海外水事業並びにエネルギー事業を統括しておりました 山田克彦は、平成 29 年 3 月末日付けをもって取締役を辞任したいとの申し入れがあり、受諾しております。

加えて、役員報酬の自主返上の申し出があり、これを受け入れることとしましたのでお知らせいたします。

役員報酬の返上内容

前代表取締役社長…月額基本報酬額の 60%を減額
代表取締役社長……月額基本報酬額の 50%を減額
取締役……………月額基本報酬額の 20%を減額
上席理事……………月額基本報酬額の 10%を減額

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上